

① 制度の概要

エレクトロニクスおよび情報工学の分野で、**人間と機械の調和を促進する研究活動**に助成します。人間重視の視点に立った科学技術の健全な発展に寄与したいという財団の願いを実現する、**科学技術を人間にとって最適なものとする基礎研究活動**を歓迎しています。

立石科学技術振興財団による研究助成は、人間と機械の調和という理念のもと、エレクトロニクス技術と情報工学技術の融合による新たな価値創造を目指す若手研究者を支援する制度です。基礎研究から応用研究まで幅広い研究段階をカバーし、独創性と将来性を重視した採択を行っています。

② 支援金額

□ 研究助成(B)

- 設備備品費（計測器、高性能PC等の資産管理対象装置・備品購入）
- 材料費（部品・材料・消耗品購入、業務委託、研究委託費用）
- 人件費（研究補助派遣費用、学生アルバイト代、謝金等）
- 調査研究費（学会参加費・交通費・宿泊費等）
- 間接経費（管理費）

最大600万円

間接経費含む

③ 対象となる取組

- エレクトロニクス技術と情報工学の融合による**人間中心設計**の研究
- 人工知能・機械学習における**倫理的配慮**を重視した技術開発
- ヒューマンインターフェース技術の革新による**アクセシビリティ向上**
- ロボティクス分野における人間との協調・共生技術の研究
- IoT・センサー技術による人間の生活品質向上に関する研究

※本人の人件費は対象外となります。

④ 対象者

- **日本国内の大学、高等専門学校、研究機関**に助成期間中所属していること
- 同一内容で他の公的機関や財団から助成金・補助金を受けないこと

※学生・大学院生は対象外となります。

採択率向上のポイント

- **理念適合性**：財団の「人間と機械の調和」理念への明確な貢献度
- **基礎研究の質**：**学術的新規性**と手法の妥当性の両立
- **将来展望**：研究成果の社会実装可能性の具体的提示
- **研究実績**：過去の研究業績と本提案との論理的関連性

⑤ 戦略的分析

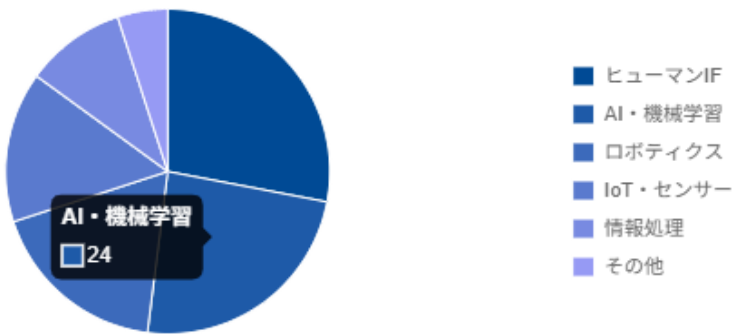
【採択のポイント】

- **人間と機械の調和**という財団理念に明確に合致した研究テーマの設定
- 基礎研究でありながら**将来的な社会実装**を見据えた研究計画の構築
- 研究者の**継続的な研究実績**と将来性への期待値の高さ

【研究助成(S)との差別化戦略】

- **基礎研究段階**に重点を置いた研究計画で応募する
- 将来的な**研究助成(S)への発展**を見据えたロードマップを提示
- 若手研究者としての**独創性と成長ポテンシャル**をアピール

⑥ 研究分野別採択傾向



過去実績分析：ヒューマンインターフェース分野が最多採択
新興分野：AI倫理・人間中心設計への注目度上昇

⑦ 研究テーマと応用例

研究分野	期待される成果
AI・機械学習	説明可能AI、公平性を考慮したアルゴリズム開発
ヒューマンIF	直感的操作界面、バリアフリー技術の革新
ロボティクス	協働ロボット、介護・医療支援技術の発展
IoT・センサー	スマート環境、ヘルスケア応用システム
情報処理	人間行動モデリング、感情認識技術

⑧ 専門家活用のススメ

- **研究計画策定**：財団理念に合致した研究設計の最適化支援
- **予算配分助言**：600万円上限内での効果的資金配分計画
- **申請書作成**：審査委員に響く論理構成と表現技法指導
- **面接対策**：研究内容のプレゼンテーション技術向上

⑨ 必要書類とチェックポイント

*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/8/4作成】

提出書類	チェックポイント
研究計画書	□ 人間と機械の調和への貢献度を明記 □ 研究の独創性と社会的意義を具体的に記述 □ 予算配分の妥当性と効率性を詳細に説明
研究業績一覧	□ 関連研究分野での継続的な業績蓄積を示す □ 査読付き論文の質と量のバランス確認
所属機関承諾書	□ 機関長の正式承認印と日付の確認 □ 間接経費規程の明記と計算根拠
経費明細書	□ 各費目の積算根拠と使用計画詳細 □ 設備備品の必要性と効果説明

⑩ 申請スケジュール

- 事前準備期間**
書類準備に2〜3ヶ月程度。研究計画の精緻化と所属機関との調整が重要。
- 公募期間**
2025年9月1日（月）～10月17日（金）
助成サポートシステムによる電子申請
- 書類審査**
10月下旬～12月上旬
- 面接審査**
2026年1月中旬頃
通過者のみ実施
- 採択結果通知**
2026年3月頃
助成期間：2026年4月～2027年3月

⑪ 問い合わせ

制度詳細	https://www.tateisi-f.org/research/application.html
お問い合わせ	公益財団法人 立石科学技術振興財団 TEL 075-365-4771 ※お問い合わせは制度詳細ページよりE-mailをお願いいたします。

Memo